

実態調査（東京都における飲酒問題調査研究）について

第1 研究概要

（1）実施目的

- 東京都におけるアルコール健康障害対策の一層の推進を図るため、都内におけるアルコール使用障害等を含むアルコール健康障害の実態を把握し、かつアルコール代謝酵素遺伝子型の調査により飲酒による健康障害に影響しうる遺伝学的要因を把握する。
- 女性における飲酒関連問題やコロナウイルス感染症の影響等についても分析し、次期アルコール健康障害対策推進計画策定に活用するとともに、施策の検討を行う。

（2）調査委託先

国立精神・神経医療研究センター（共同研究機関：東京都医学総合研究所、久里浜医療センター）

（3）実施方法

- 都内の20歳以上の男女2,400名程度を対象とした飲酒習慣に関するアンケート調査

< 主な設問 >

- ・ 飲酒経験の有無、飲酒を始めた年齢、飲酒の頻度、量
- ・ コロナ禍（2020年～2023年頃）における飲酒の場所、飲酒のタイミング
- ・ 過去1年間に、飲酒が原因で生活に支障が出ることがあったか
- ・ 依存の問題で相談や援助を求めたことがあるか

- 頬粘膜の採取によるアルコール代謝酵素遺伝子型調査（700名程度）
アルコールの影響を左右する2つの遺伝子型（*ADH1B*、*ALDH2*）を判定

（4）実施時期

令和7年5月～令和7年12月（中間報告7月頃・最終報告12月）

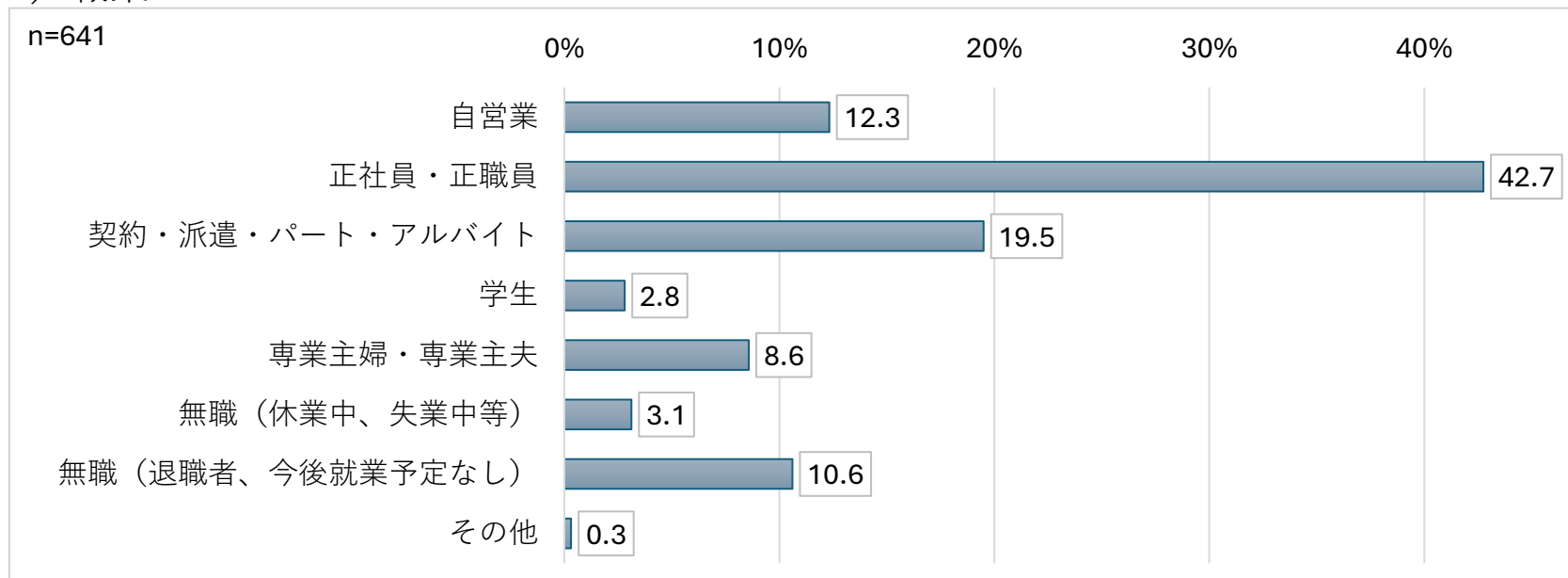
第2 中間報告：集計結果（7月29日付収集検体速報）

1 回答者の基本属性

（1）性別・年代

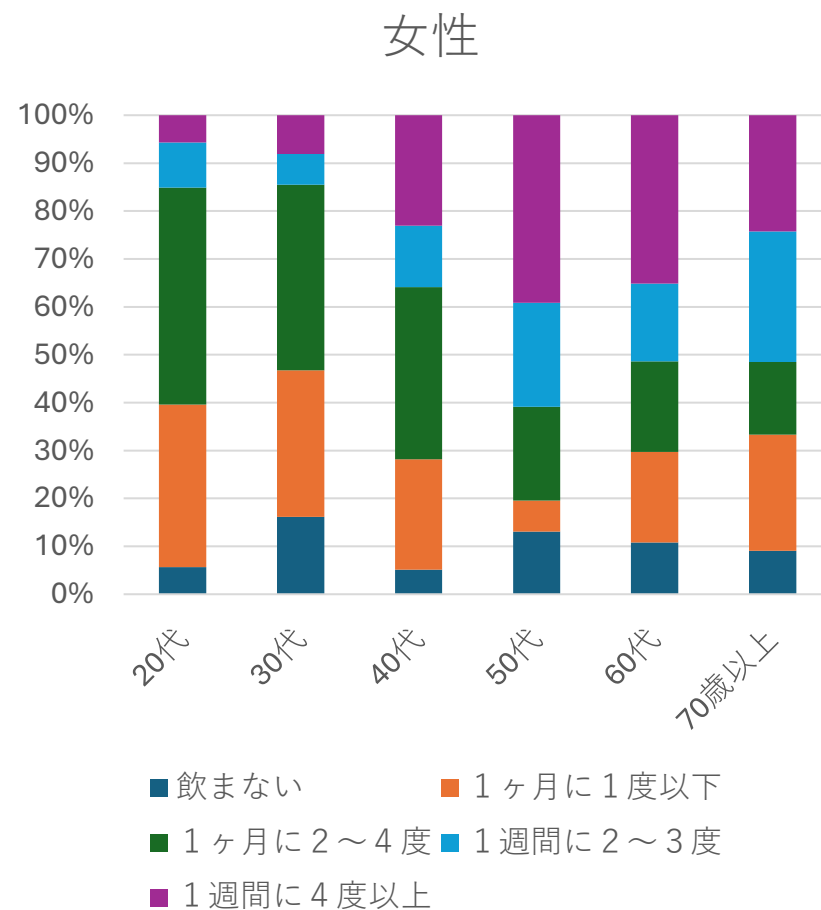
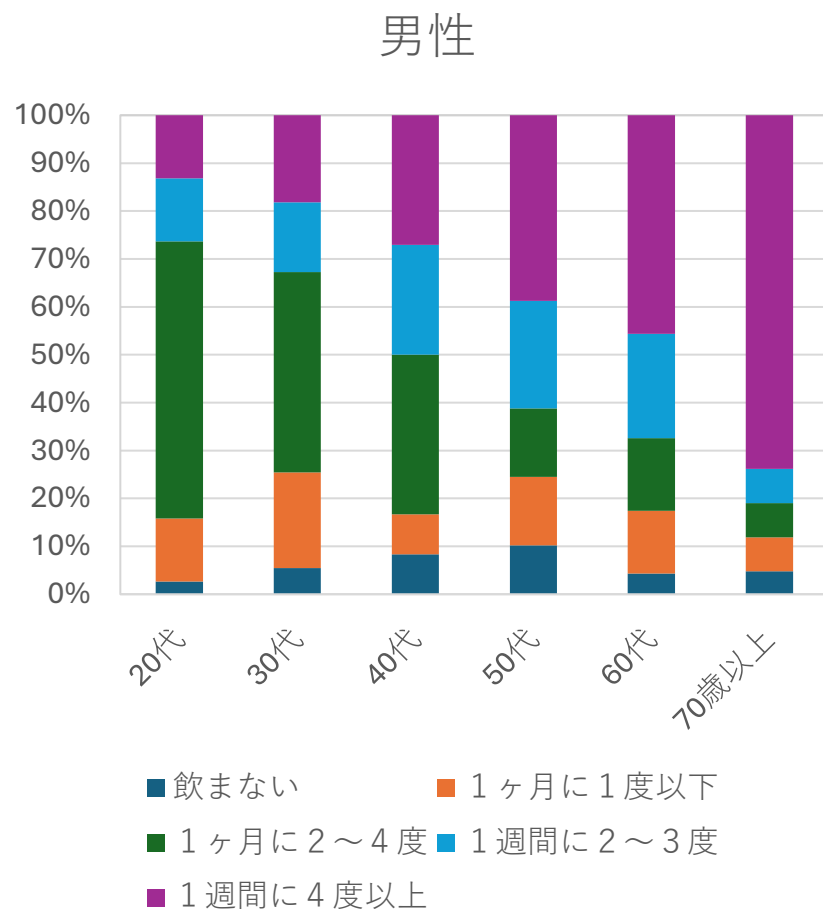
		年代							
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
性別	男性	41	58	51	55	51	50	0	306
	女性	59	65	45	60	41	58	0	328
	未回答・不明	2	3	0	0	2	0	1	8
	合計	102	126	96	115	94	108	1	642

（2）職業



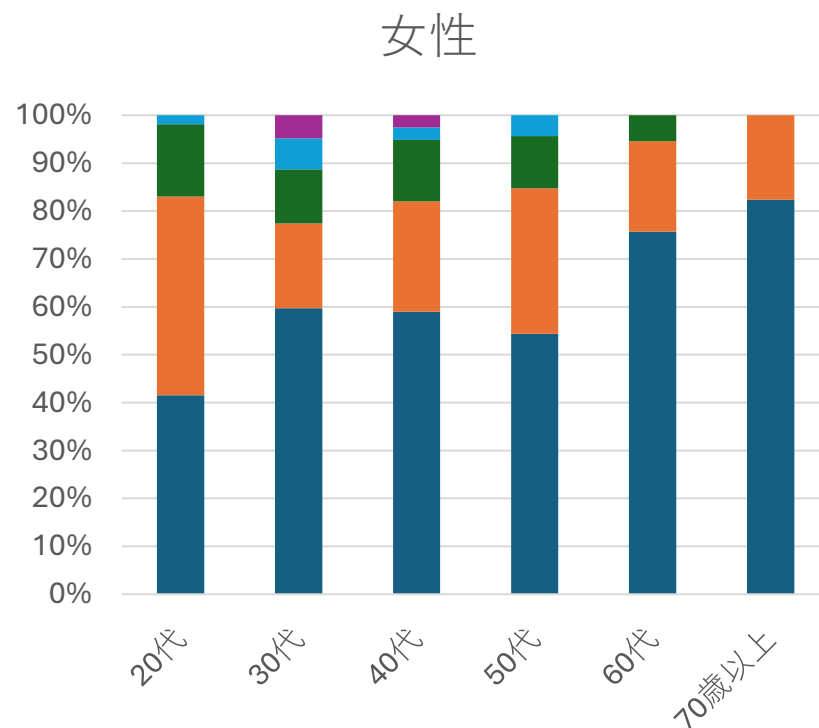
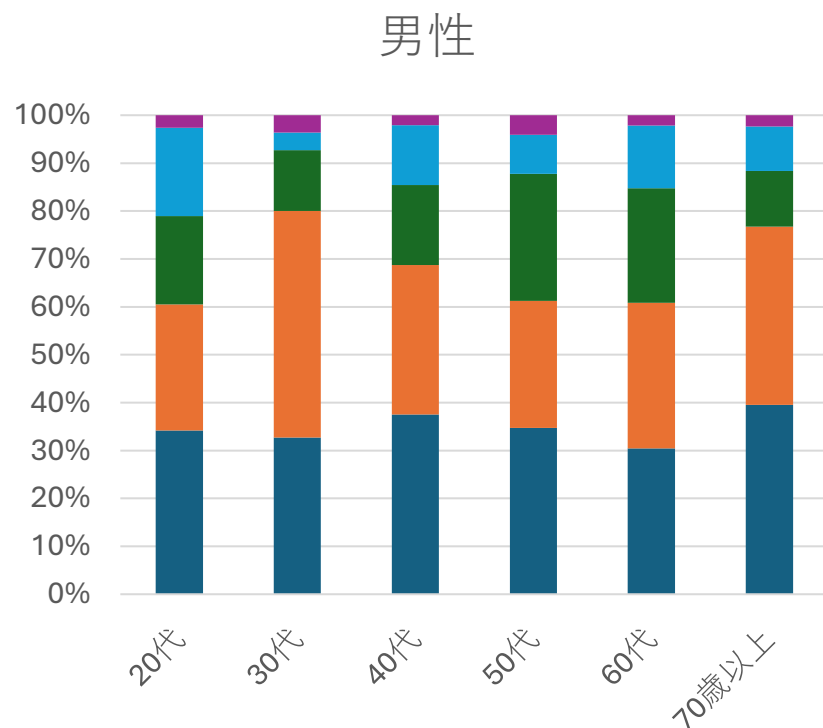
2 飲酒関連データ

（1）飲酒の頻度（男性・女性）



2 飲酒関連データ

（2）飲酒の量（男性・女性）



■ 0～2ドリンク ■ 3～4ドリンク
■ 5～6ドリンク ■ 7～9ドリンク
■ 10ドリンク以上

■ 0～2ドリンク ■ 3～4ドリンク
■ 5～6ドリンク ■ 7～9ドリンク
■ 10ドリンク以上

※ 1ドリンク=純アルコール10g換算

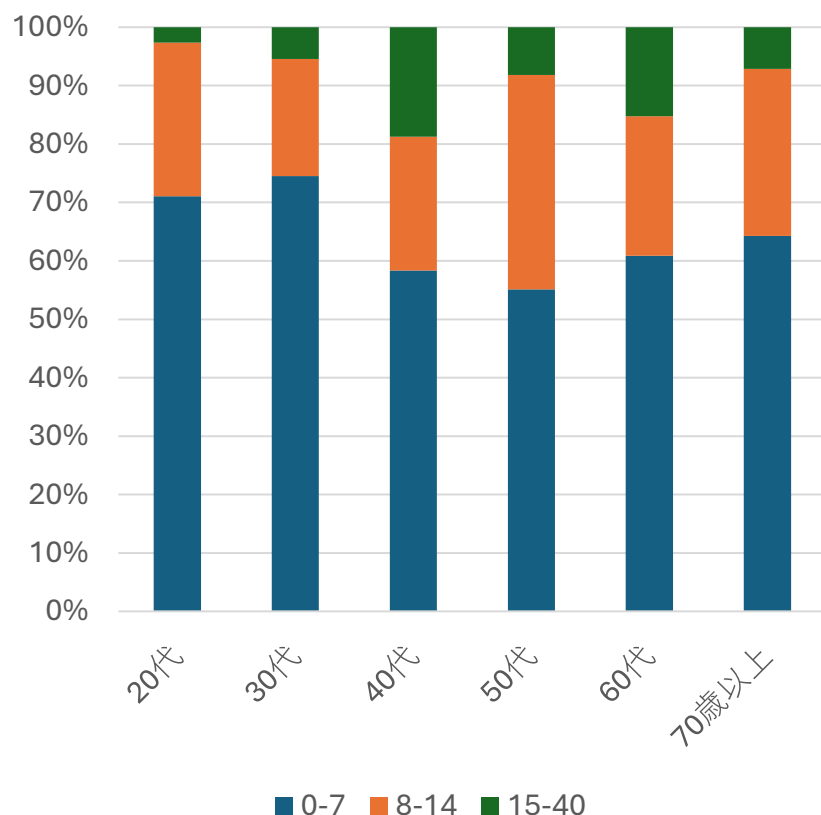
例：ビール5%350mL = 1.4 日本酒15%1合 = 2.2 酎ハイ7%350mL = 2.0

2 飲酒関連データ

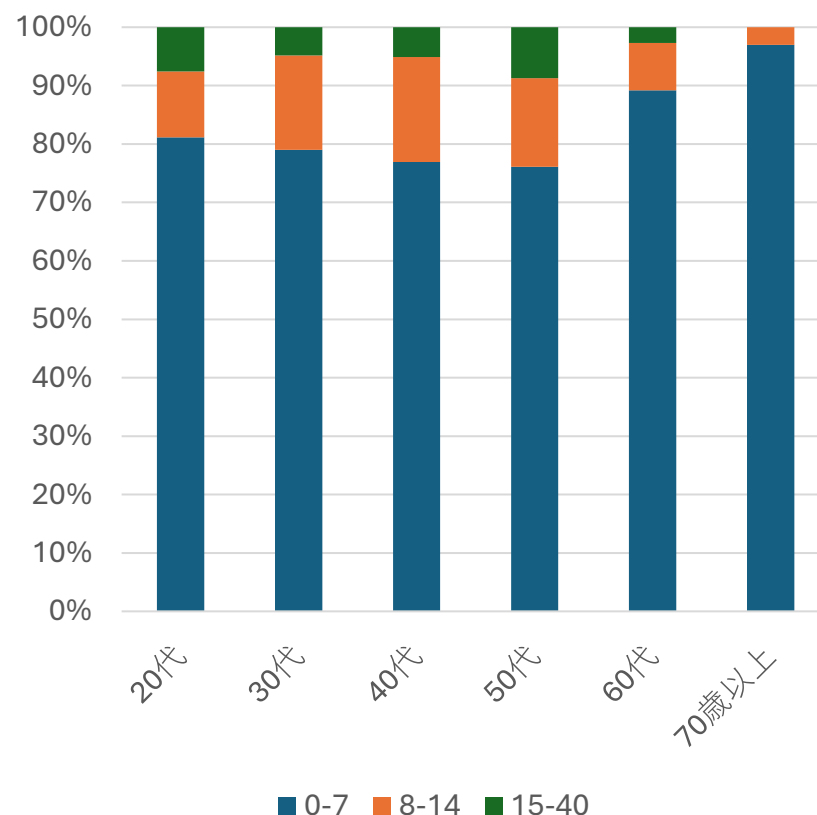
（3）Audit スコア（男性・女性）

スクリーニングテストによって飲酒習慣や依存のリスクを評価する指標。

男性



女性



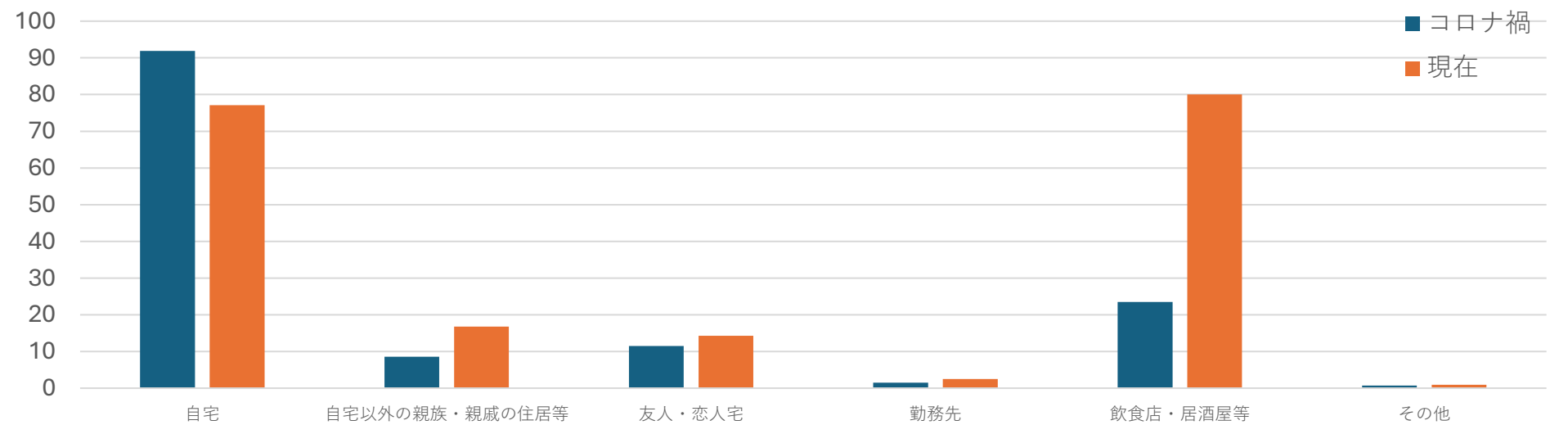
Audit スコア

0～7点：正常範囲 8～14点：問題飲酒の可能性あり 15点以上：アルコール依存症の疑い

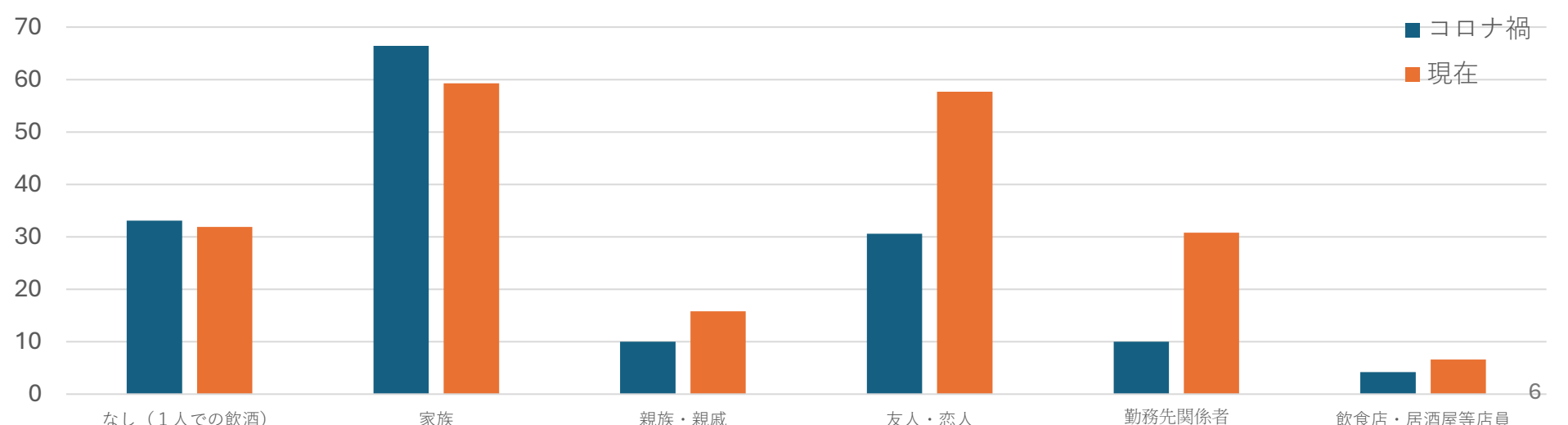
第2 中間報告：集計結果（7月29日付収集検体速報）

2 飲酒関連データ（続き）

主な飲酒の場所（コロナ禍時期（2020年～2023年頃）・現在）



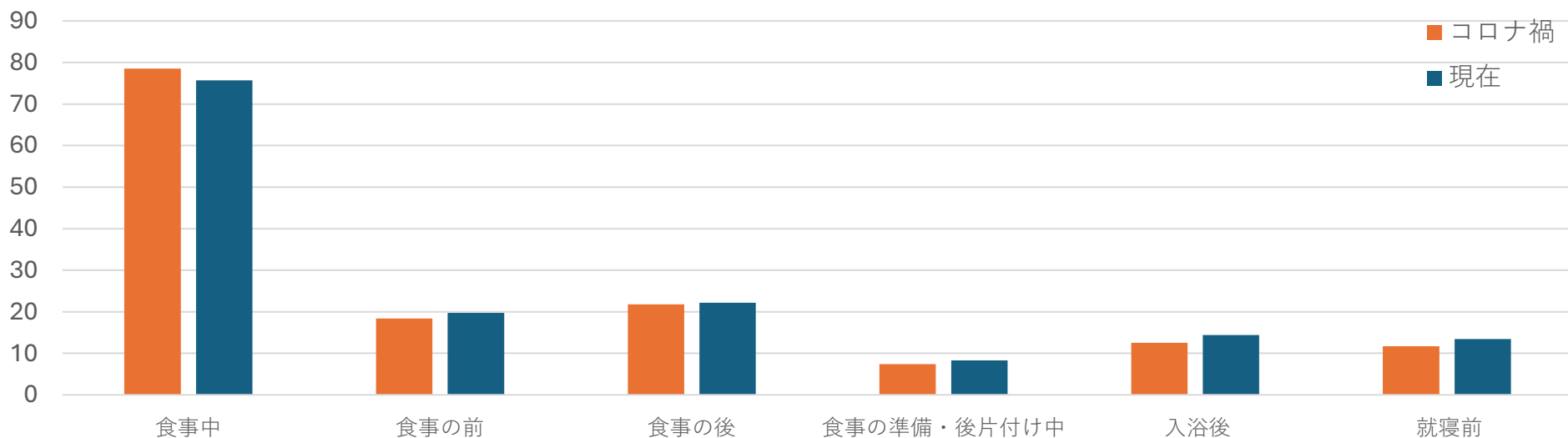
飲酒の際に主に一緒に過ごす人（コロナ禍時期（2020年～2023年頃）・現在）



第2 中間報告：集計結果（7月29日付収集検体速報）

2 飲酒関連データ（続き）

自宅における主な飲酒のタイミング（コロナ禍時期（2020年～2023年頃）・現在）



2 飲酒関連データ（続き）

Auditスコア × うつ症状データ（PHQ-9スコア）
※スクリーニングテストによってうつ病の重症度を評価する指標

PHQ-9 score (level0-4)	2 0 – 2 7	6 (1. 5 %)	0	1 (2. 5 %)
	1 5 – 1 9	8 (2. 0 %)	0	2 (5. 1 %)
	1 0 – 1 4	2 2	7	3
	5 – 9	7 4	2 1	8
	0 – 4	2 8 8	8 1	2 5
		0 – 7	8 – 1 4	1 5 – 4 0
	計 3 9 8	計 1 0 9	計 3 9	
Audit Score				

PHQ-9 score (level0-4)
0～4点：うつ症状なし～軽度 5～9点：軽度のうつ
10～14点：中等度のうつ 15～19点：中等度～重度のうつ
20～27点：重度のうつ

Audit スコア
0～7点：正常範囲 8～14点：問題飲酒の可能性あり
15点以上：アルコール依存症の疑い

2 飲酒関連データ（続き）

あなたはこれまでに、依存の問題で以下のところに相談や援助を求めたことがありますか。
（問43）

（全体：624）

	回答数	割合
病院やクリニックの受診	22	3.61%
法律の専門家（弁護士、司法書士等）	8	1.31%
公的な相談機関（市区町村や精神保健福祉センター、保健所等）	6	0.99%
民間の相談機関	0	0.00%
自助グループ	0	0.00%
警察	0	0.00%
その他	0	0.00%
あてはまるものはない	595	97.70%